

藤里町立藤里小学校耐震 2 次診断結果報告書

藤里町教育委員会 学校教育係

.耐震化計画

藤里小学校は、「昭和 56 年以前の構造基準で建設された建物で、非木造の 2 階建て以上又は床面積 200 m²を超える建物」に該当するため、耐震診断及び耐震補強が義務付けられています。

このため、平成 15 年度には耐震 1 次診断、平成 20 年度には耐震 2 次診断を実施しました。

平成 21 年 5 月 13 日に提出された本調査結果に基づき、構造耐震指標 (Is 値) が 0.7 未満の学校施設について耐震補強工事を行う予定です。

なお、藤里中学校の耐震 2 次診断は、現在調査中であり、平成 21 年 9 月 30 日まで診断結果が報告される予定です。

.第 2 次耐震診断結果

平成 20 年度において、藤里小学校の校舎および体育館の第 2 次耐震診断を行いました。

結果について下記のとおりです。

なお、藤里小学校の教室 A 棟では、第 2 次診断による Is 値が目標としていた数値 (0.7) 未満であり、その他屋内体育館では構造上支障となる箇所があったため、今後、耐震補強設計、耐震補強工事を行う計画です。

藤里小学校第 2 次耐震診断結果

番号	施設名称	建築年度	構造・規模	保有面積 (m ²)	1 次診断 Is 値	2 次診断 Is 値	備考
	管理棟及び特別教室棟	S48	RC 構造 地上 3 階・ 塔屋 1 階	1,708	0.37	0.77	
	教室 A 棟	S49	RC 構造 地上 2 階・ 塔屋 1 階	1,227	0.35	0.63	
	教室 B 棟	S49	RC 構造 地上 3 階・ 塔屋 1 階	1,094	0.35	0.86	
	屋内体育館	S49	S 造 地上 2 階	998	0.74	1.79	わたり廊下含む

< 参考 >

Is 値とは、建物の耐震性を判断するための数値 (構造耐震指標) で国土交通省では安全の目安として Is 値を 0.6 以上、文部科学省では、学校施設の耐震改修の目安として 0.7 としています。

耐震補強設計

平成 21 年 5 月 13 日に報告された藤里小学校の校舎および体育館の耐震 2 次診断の結果に基づき、耐震補強設計を検討しました。

なお、これらの耐震補強工事および大規模改修工事を平成 22 年度完了を目標に平成 21 年度（H 22.1 ごろ）から工事着手を予定しています。

耐震補強設計内容

番号	施設名称	2 次診断 Is 値	耐震補強 設計後 Is 値	耐震 2 次診断結果	耐震補強計画
	管理棟 及び特別 教室棟	0.77		全ての階で Is 値 0.70 を上回っており、耐震補強の必要はない。	なし
	教室 A 棟	0.63	0.83	1 階の Is 値が 0.63 であり、耐震補強が必要であると診断された。	1 階部分に外付けフレーム（鋼板内蔵 RC 枠付フレーム）を設置する。
	教室 B 棟	0.86		全ての階で Is 値 0.70 を上回っており、耐震補強の必要はない。	なし
	屋内 体育館	1.79	1.79	Is 値は上回っていたものの、屋根面の筋交いのブレース構造の強度を保持するため、32 構面のうち桁側 16 構面のブレースを交換する必要があると診断された。	屋根面荷重伝達向上のため、体育館の屋根面ブレース（桁行側構面）を交換する。

鋼板内蔵 R C 枠付フレーム補強（完全外付け型）

建物の外側に鋼板をあと施工アンカーで固定し、配筋後コンクリートを打設して一体化し、耐震性能の向上を図る工法です。

耐震補強工事概要

工 期： 約 3 ヶ月

工 法； 教室 A 棟 鋼板内蔵 R C 枠付フレーム補強（完全外付け型）
（ 4 面 ）

屋内体育館 屋根面ブレース交換
（ 桁行側 16 構面 ）

事業費： 3 3 , 0 0 0 千円